

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。 皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。 旧年中は、格別のご支援を受け賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年も、より一層のご支援を賜りますよう、社員一同心よりお願い申し上げます。

■ 代表取締役社長 馬場太一郎からのご挨拶

新年あけましておめでとうございます。 2024年を終え、新たな年を迎えるにあたり、新年の あいさつを申し上げます。

2024年は、石川県また、近県の皆様にとって大変なスタートとなりました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、そこから一年の歳月を迎え新たな幕開けとなった2025年。人々の「再生」に向かう力と、そこから新たに生まれた物事に、わたくし自身多くの学びがございました。引き続き、被災された地域の皆様への支援を微力ながら進めて参ります。



さて、ここ数年、国内の経済や地域社会において、浮き沈みのある年月を過ごしてまいりましたが、すべての 事情において、知恵と行動によって「再生」を繰り返してきました。この「再生」というキーワードは、他の国 の事例に倣っても日本独自の底力、文化的能力の成長と躍進ではないかと感じております。

私たち、富士クリーンは、本年度 50 期を歩んでおり、この半世紀皆様にお付き合い頂いたことに感謝を申し上げます。リサイクルという言葉が世の中に無い時代から事業を進め、今は「廃棄物を資源として社会へ循環させる」をキーワードに事業を再構築しております。冒頭での「再生」という言葉は、この先 50 年大切にしていきたい言葉であり、雇用、職場環境、事業、すべての変化の中で「再生させる実行力」を養って参ります。

適正処理、無害化、資源化、再生エネルギーの利活用を経て、社会の循環の和に貢献できるように「変化への再生」に力を結集して参ります。

創業より50年、半世紀という時間と経験を、新たな挑戦への礎にできるよう、社員一丸となって挑戦して参ります。これからも変わらぬご指導を賜りますよう切にお願い申し上げるとともに、関係各所皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。